とちぎ Prefectural Newsletter of Tochigi
県民だより
VOL.250
2012 2月号
編集・発行 栃木県広報課 平成24年2月5日発行

目次
2面 広がる障害者の社会参加・栃木県文化振興基金
3面 県からのお知らせ ほか
4面 吹き竹・県政トピックス・文化情報 ほか

〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20
TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160
栃木県のホームページ http://www.pref.tochigi.lg.jp/

毎月第1日曜日発行（次回は3/4発行）

大麦を使った商品などの試食・検討会

フードバレーとちぎを目指して

県では、本県の持つポテンシャルを最大限に活かし"食"に関連する産業の振興を図ることにより、地域経済が成長・発展し、活力あふれる「フードバレーとちぎ」を目指した取り組みを推進しています。今回は、商品開発や販路開拓に関する取り組みを紹介します。

広がる「フードバレーとちぎ」のつながり

平成22年11月に、県内の農林漁業者や食品製造業をはじめとする食品関連企業、産業支援機関など"食"に関する幅広い主体が集まり「フードバレーとちぎ推進協議会」を設立しました。

現在は400以上の会員が参加して、会員相互の連携を図りながら、新商品開発などの取り組みを進めています。

フードバレーとちぎの取り組み

- 産学官連携による 商品開発 技術開発
- 海外市場も視野に入れた 販路開拓
- とちぎの強みを活かした 企業誘致
- 農業をはじめとする 関連産業の高付加価値化

県の特産品で新商品を開発

協議会では、本県の特産品である大麦、いちご、米粉の利用拡大を目指して、それぞれの特徴を学ぶセミナーや、商品などを持ち寄っての研究会を行っています。

大麦の研究会に参加する柳屋食品㈱では「大麦入りざるうどん」を出品しました。

同社の中島克也さんは「大麦は小麦よりも麺がまとまらないため試行錯誤を重ねました。そのかいがあって、大麦独特の甘味や旨みと、コシがあってつるつるとした食感が好評で、商品に自信を持ちました」

大麦入りざるうどん

また「研究会を通じて、普段は接点のない事業者と出会えました。これからも、お互いに切磋琢磨して大麦を使った商品の定着を目指したいです」とこれからの展望などを話してくれました。

㈱パン・アキモトでは、「大麦入りパン」を出品しました。大麦に含まれる食物繊維のβグルカンには、血糖値の上昇を抑えるといった効果があることに着目して、糖尿病の方やダイエットをしている方など食事制限をしている人向けに開発した商品です。

大麦入りパン

1個80キロカロリーに抑えたプチサイズながら、パンのおいしさはそのままで、食べる楽しさと健康性を両立させています。

㈱大麦工房ロアでは、本業の菓子とは別に、大麦を使ってこんなこともできるということを見てもらおうと「大麦入りハンバーグ」を試作しました。

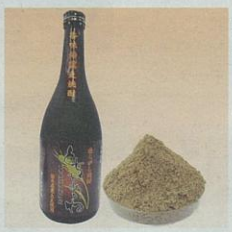
大麦入りハンバーグ

同社の浅沼誠司社長は「材料のひき肉を減らして、その分、炊いた大麦を加えて低カロリーにしました。味のほうも、ひき肉とタマネギ、大麦の3種類の食感が味わえて、おいしいです」

また「大麦を利用するすそ野が広がれば需要も増えて、農業のためにもなると思います」と話してくれました。

㈱白相酒造は、研究会の参加者から提供された大麦を焙煎した「麦こがし焼酎」を使い「麦こがし焼酎」を開発・商品化しました。大麦本来のほのかな甘みを引き出し、香ばしい香りも楽しめます。

麦焼酎ならではの柔らかい口当たりと、くせのなさも特徴で、ロックやお湯割りなどお好みの飲み方で味わえます。


麦こがし焼酎と麦こがし粉

また、食品に含まれる健康の維持などに役立つ機能性成分の活用を目指した研究会も行われています。

「ギャバ味噌」を(有)岩上商店や県産業技術センターと共同開発した㈱カザミは、研究会で事例発表をしました。ギャバは血圧降下作用や気持ちをリラックスさせる効果があるアミノ酸の一種で、ギャバ味噌には、従来の味噌の10倍以上のギャバが含まれています。

味噌麹作りは、通常2日程度でできますが、約1週間かけて丁寧に仕込むことで、米や大豆に含まれるアミノ酸や糖分をより多く分解させる工夫がされています。

このほかにも、いちごや米粉を使用した商品開発も進められており、いちごや米粉を使ったスイーツやパスタなどの新商品の登場が期待されています。

ギャバ味噌

県産品の販路を開拓

協議会では、販路を意識した商品の開発や販路を開拓・拡大する売れる商品づくり支援も行っています。

食品流通の専門家が相談に応じる無料相談会では、売れ筋の商品やバイヤーへの効果的なアピールの仕方などをアドバイスしています。有望な商品には、さらに個別のアドバイスを行って、商品の完成度を高め、商品に見合った販路を選定するなどマーケティング全般に関して切れ目のない支援を行っています。

また、東京圏や香港など海外で開催される展示商談会に、栃木県のブースを設置するなど販路開拓を支援しています。さらに、5月22日に東京スカイツリータウン®内にオープンするアンテナショップでもPRしていきます。

県では、今後も「フードバレーとちぎ」を目指した取り組みを推進してまいりますので、その中から、全国に誇れる魅力的な商品が生み出されることにご期待ください。

【問合せ】県産業政策課☎028-623-3203

栃木県の人口（1月1日現在）1,998,828人（前月比－837人、前年同月比－5,430人）世帯数751,811世帯